

(様式 1 - 3)

松島町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 28 年 1 2 月時点

NO.	32	事業名	松島地区下水道施設移設事業	事業番号	◆D-1-3-1
交付団体	松島町	事業実施主体 (直接/間接)	松島町 (直接)		
総交付対象事業費	156,288 (千円)	全体事業費	474,580 (千円)		
事業概要					
<p>1. 事業概要</p> <p>東日本大震災の津波や地震により、甚大な被害を受けた松島地区において、観光客や住民等を迅速かつ安全に避難場所へ避難させる避難路ネットワークの基軸を構成する国道 45 号の避難路整備 (国直轄事業) に伴い必要となる、下水道管渠の移設工事に向けた調査設計を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業箇所：松島地区 ・事業内容：下水道管渠 (L=653m)、マンホール (7 箇所) <p>[変更前]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容：下水道管渠 (L=660m)、マンホール (16 箇所) <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 27 年 5 月 15 日)</p> <p>詳細設計及び関係機関との協議の結果、推進工法の工事費が増額となったため、D-21-1 松島地区外下水道事業より、318,292 千円 (国費：254,633 千円) を流用。</p> <p>これにより、交付対象事業費は 20,500 千円 (国費：16,400 千円) から、338,792 千円 (国費：271,033 千円) に増額。</p> <p>2. 松島町震災復興計画における位置づけ</p> <p>本事業は、松島町震災復興計画において以下のとおり位置づけられている。</p> <p>「道路-③防災と観光機能を備えた交通環境の創出」(P. 4-15 参照)</p> <p>施設復旧に併せて歩行空間を整備し、避難路としての機能確保を図るとともに、避難標識の外国語標記や避難所への夜間照明の設置など、災害時の防災機能の強化を図ります。</p> <p>3. 地元との協議調整状況</p> <p>【平成 23 年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 月 28 日：中央商店会と、津波防災に関して意見交換会を実施 ・10 月 29 日：松島行政区と、津波防災に関して意見交換会を実施 ・11 月 3 日：松島観光協会と、津波防災に関して意見交換会を実施 ・11 月 6 日：松島地区の住民と、津波防災に関して意見交換会を実施 					

【機密性 2 情報】

- ・ 12 月 11 日：松島町震災復興計画（素案）に関して住民説明会を実施
- ・ 12 月 19 日：行政区長会議において松島町震災復興計画（素案）を説明し、計画内容を周知

【平成 24 年】

- ・ 9 月 6 日：松島地区を対象に復興事業に関する地区役員説明会を実施
- ・ 9 月 26 日～10 月 4 日：松島地区の地区役員等を対象にまちづくりに関する勉強会を実施
- ・ 10 月 1 日：行政区長会議において復興交付金事業計画に関する説明を実施
- ・ 10 月 6 日：復興交付金事業計画に関する住民説明会を実施

以上の会議開催を通じて、本事業の計画内容について協議調整を図っている。

4. 関係機関との協議調整状況

当地区は特別名勝松島に指定されており、関係機関である文化庁、宮城県文化財保護課と数度の協議を行っている。また文化庁の協力のもと特別名勝松島の保存管理のあり方に関する検討会を重ね、現時点で想定している区域への整備について概ね了解を得ている。

今後は、調査設計等を行い、詳細な内容について協議を行う予定である。

【平成 23 年】

- ・ 11 月 1 日：宮城県道路課と本事業について協議調整を実施
- ・ 11 月 28 日：宮城県道路課と本事業の計画内容について協議調整を実施

【平成 24 年】

- ・ 1 月 6 日：宮城県道路課と道路事業の実施箇所について協議調整を実施
- ・ 7 月 18 日：国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所と当該事業の内容に関する協議を実施
- ・ 8 月 23 日：宮城県文化財保護課と復興交付金事業に関する協議を実施
- ・ 9 月 20 日：国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所と当該事業の内容に関する協議を実施

当面の事業概要

<平成 25 年度>

下記道路整備に関する測量及び調査設計等

- ・ 下水道管渠移設 L = 660m、マンホール 16 箇所の移設

<平成 26 年度>

下記道路整備に関する測量及び調査設計等

- ・ 下水道管渠移設 L = 660m、マンホール 16 箇所の移設

<平成 27 年度>

下記道路整備に関する測量及び調査設計等

【機密性 2 情報】

<ul style="list-style-type: none">・ 下水道管渠移設 L = 653m、マンホール 7 箇所の移設 下記道路整備に関する工事等・ 下水道管渠移設 L = 653m、マンホール 7 箇所の移設 <p><平成 28 年度></p> <p>下記道路整備に関する測量及び調査設計等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 下水道管渠移設 L = 653m、マンホール 7 箇所の移設 下記道路整備に関する工事等・ 下水道管渠移設 L = 653m、マンホール 7 箇所の移設
東日本大震災の被害との関係
<p>東日本大震災により、松島地区の沿岸部一帯が津波被害を受けており、観光客や住民等が迅速かつ安全に避難場所へ避難できなかった。</p> <p>また、断続的に余震が発生し、夜間でも避難所に避難する住民が後を絶たない状況に対し、避難路のネットワークが整っておらず、かつ、ライフラインが途絶し安全な避難環境が確保できなかったために事故等が発生した。このため、沿岸部から迅速かつ安全に避難ができる避難路と避難路ネットワークの構築が喫緊の課題となっている。</p>
関連する災害復旧事業の概要
<p>町道道路災害復旧事業により被災した町道の復旧を進めている。</p>

関連する基幹事業	
事業番号	D-1-3
事業名	町道高城・松島線外道路整備事業
交付団体	松島町
基幹事業との関連性	
<p>東日本大震災の津波や地震により、甚大な被害を受けた松島地区において、復興交付金事業により、海岸部からの迅速かつ安全な避難に資する避難路を整備するが、これらの避難路を体系的に機能させるためには避難路ネットワークの基軸をなす国道 45 号の避難路整備（歩道拡幅、国直轄事業）が不可欠であり、この整備の際に、町が道路占用している下水道管渠を移設する必要がある。</p>	

(様式 1 - 3)

松島町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 28 年 1 2 月時点

NO.	49	事業名	町道上竹谷・高城線外道路整備事業 [補助率変更分]	事業番号	D-1-6
交付団体	松島町		事業実施主体 (直接/間接)	松島町 (直接)	
総交付対象事業費	115,785 (千円)		全体事業費	336,910 (千円)	
事業概要					
<p>1. 事業概要</p> <p>東日本大震災の津波や地震により、甚大な被害を受けた高城・磯崎地区において、沿岸部の集落からの迅速かつ安全な避難のための避難路の整備を行う。</p> <p>本道路は、町内で最も人口が集積し、また、公共公益施設が立地している磯崎地区、高城地区等の避難道路となるものであり、地区の復興に向けて整備が必要な重要な路線である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業箇所：高城・磯崎地区 ・事業内容：L=6,100m (W=4.0~15.0m)、踏切部拡幅 1箇所 (JR 磯崎第二踏切)のうち残工事分 <p>※当事業は、補助率が 5/9 から 6/10 に変更となるため、No. 15 事業の事業内容の内、残工事に係る内容を移行したものである。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 28 年 10 月 13 日)</p> <p>JR 磯崎第二踏切の拡幅に伴い、隣接する開水路の暗渠化や電柱・架線の付け替えが必要となる他、震災前後での工事資材や人件費の増額、JR の非営業区間から営業区間への変更により、D-4-1 災害公営住宅整備事業より 24,337 千円 (国費：H23 補正 (繰越) 予算 21,296 千円)、D-20-10 復興まちづくり支援施設整備事業より 1,758 千円 (国費：H24 当初 (繰越) 予算 1,172 千円)、D-4-2 災害公営住宅駐車場等整備事業より 42,255 千円 (国費：H24 当初 (繰越) 予算 36,973 千円)、D-20-17 松島海岸公園避難施設整備事業より 492 千円 (国費：H23 補正 (繰越) 予算 328 千円)、D-20-18 本郷地区防災広場整備事業より 1 千円 (国費：H24 当初 (繰越) 予算 0 千円)、◆D-20-7-1 松島地区等復興まちづくり情報 GIS 基盤整備事業より 100 千円 (国費：H23 補正 (繰越) 予算 80 千円)、◆D-20-11-1 防災まちづくり広場整備事業より 4,701 千円 (国費：H25 当初予算 3,761 千円)、D-20-21 松島海岸公園避難施設整備事業 @ [工事等] より 3 千円 (国費：H25 当初 (繰越) 予算 2 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 0 千円 (国費：0 千円) から 79,515 千円 (国費：63,612 千円) に増額。</p> <p>2. 松島町震災復興計画における位置づけ</p> <p>本事業は、松島町震災復興計画において以下のとおり位置づけられている。</p>					

【機密性 2 情報】

「道路－③防災と観光機能を備えた交通環境の創出」(P. 4-15 参照) 施設復旧に併せて歩行空間を整備し、避難路としての機能確保を図るとともに、避難標識の外国語標記や避難所への夜間照明の設置など、災害時の防災機能の強化を図ります。	
当面の事業概要	
＜平成 28 年度＞ 下記施設整備に関する修正設計 ・踏切拡幅部 : 1 箇所 (磯崎第二踏切)	
＜平成 29 年度＞ 下記施設整備に関する工事 ・踏切拡幅部 : 1 箇所 (磯崎第二踏切)	
東日本大震災の被害との関係	
<p>東日本大震災により、地区内の各所で道路の陥没や損傷等により避難する道路が限られたほか、道路幅員が狭く家屋の倒壊などが避難の障害となり、高台避難や物資輸送に支障をきたした。</p> <p>また、断続的に余震が発生したことから、夜間でも避難所に避難する住民が後を絶たなかったが、電気等のライフラインが途絶したため、夜間の避難者の安全が確保ができず、事故等が発生した。</p> <p>さらに、当該路線は、津波浸水区域の松島海岸海沿いから広域避難拠点となる松島運動公園までの避難ルートでもあり、住民や観光客等が迅速かつ安全に避難できるよう道路整備を行う必要がある。</p>	
関連する災害復旧事業の概要	
町道道路災害復旧事業により被災した町道の復旧を進めている。	

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	